

TOYAMA KAZUYUKI MEMORIAL ARCHIVES  
OF  
MODERN JAPANESE MUSIC  
LECTURE CONCERT SERIES

日本近代音楽館レクチャーコンサートシリーズ

XII

日本の合唱

●レクチャー・指揮  
寺嶋陸也

●山田耕筰 夕やけの歌 (木下奎太郎・詩)

●守田正義 おいらの春 (高木進二・詩)

●吉田隆子 小林多喜二追悼の歌 (佐野嶽夫・詩)

●清瀬保二 琉球民謡 (全七曲より)

いさへんよう節 (沖えらぶ島)

西武門節 (沖縄)

子守歌 (宮古)

●外山雄三 合唱組曲

《空に小鳥がいなくなった日》 (谷川俊太郎・詩)

私が歌う理由

空に小鳥がいなくなった日

ひとりぼっちの裸のこども

ふるさとの星

●寺嶋陸也

混声合唱とピアノのためのカンタータ

《風の旅》 (ドリアン助川・詩)

2023年

11/11 (土) 14:00開演 [開場 13:30]

明治学院大学白金キャンパス アートホール

合唱 三多摩青年合唱団

ピアノ 笹有理子

入場無料  
要予約



■予約受付: 東京コンサーツ  
オンライン予約 <https://lectureconcertseries2023.peatix.com>  
Tel: 03-3200-9755 (平日10:00~18:00)



主催: 明治学院大学図書館付属遠山一行記念日本近代音楽館

制作協力: 東京コンサーツ

XII

# 日本の合唱

瀧廉太郎が武島羽衣の詩に作曲した「花」は1900年に出版されましたが、この曲は、明治時代に導入された西洋音楽の流儀による合唱曲が日本人の手によって作られた最初のすぐれた作品でした。それから120年以上の間、この国で合唱はどのような発展をしてきたのでしょうか。

今回のレクチャーコンサートでは、日本の合唱について、生み出されてきた作品の側からだけでなく、合唱団の活動のしかたにも焦点をあてながら、思想を表現する媒体としての合唱について考えてみたいと思います。コンサートでは、うたごえ運動に携わる合唱団として知られる三多摩青年合唱団の演奏で、先日お亡くなりになった外山雄三さん作曲の合唱組曲《空に小鳥がいなくなった日》(谷川俊太郎・詩)と、昨年初演されたカンタータ《風の旅》(ドリアン助川作詞・寺嶋陸也作曲)を中心に、あまり演奏される機会のない戦前の曲も交えて演奏いたします。

寺嶋陸也

2023年

11/11 (土) 14:00開演 [開場 13:30]  
明治学院大学白金キャンパス アートホール



明治学院大学 〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

- 品川駅 [JR / 京浜急行] 高輪口より都営バス「目黒駅前」行「明治学院前」下車  
または 駅より徒歩約17分
- 目黒駅 [JR / 東急目黒線 / 東京メトロ南北線 / 都営地下鉄三田線]  
東口より都営バス「大井競馬場前」行「明治学院前」下車 または 駅より徒歩約20分
- 高輪ゲートウェイ駅 [JR] より徒歩約13分
- 白金台駅 [東京メトロ南北線 / 都営地下鉄三田線] 2番出口より徒歩約7分
- 白金高輪駅 [東京メトロ南北線 / 都営地下鉄三田線] 1番出口より徒歩約7分
- 高輪台駅 [都営地下鉄浅草線] A2番出口より徒歩約7分



寺嶋陸也

TERASHIMA Rikuya

東京藝術大学音楽学部作曲科卒、同大学院修了。1997年東京都現代美術館でのポンピドー・コレクション展開催記念サテェ連続コンサート「伝統の変装」、2003年パリ日本文化会館における作品個展「東洋・西洋の音楽の交流」などは高く評価され、'06年にはタングルウッド音楽祭に招かれボストン交響楽団のメンバーと自作を含む室内楽を演奏した。作曲、ピアノ、指揮など活動は多方面にわたる。《あん》《未摘花》などのオペラをはじめ合唱曲、室内楽、邦楽器のための曲など作品多数。「大陸・半島・島/寺嶋陸也作品集」(ALCD9026)、「寺嶋陸也plays 林光」(NARD5034)など、多くのCDがある。お茶の水女子大学文教育学部非常勤講師。

## 三多摩青年合唱団

1963年創立。多摩地域でうたごえ運動を展開している。これまで外山雄三、林光、寺嶋陸也の各氏はじめ多くの音楽家、芸術家と共演してきた。寺嶋陸也氏とは2005年に竹内浩三詩による組曲「ふるさとの風に」を委嘱。その後も与謝野晶子、永瀬清子詩による組曲「八月の願い」などの委嘱、共演を重ねてきた。コロナ禍による演奏会中止が続いたが'22年に3年ぶりとなる演奏会を開催。ドリアン助川詩、寺嶋陸也曲による混声合唱とピアノのためのカンタータ「風の旅」を委嘱初演した。

## 笹有理子 SASA Yuriko, piano

東京藝術大学音楽学部器楽科卒。同期フルートの鈴木千代氏とデュオ「アミューズ」を結成、11回に亘りリサイタルを開催。多摩六都フレッシュコンサート第4回、第6回オーディションに合格。同コンサート第10回記念特別演奏者に選ばれる。1977年、カザフスタン共和国、'99年、ロシアで開催された「日本文化週間」にピアニストとして同行。府中の森芸術劇場にてベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番を、紀尾井ホールにてJ.S.バッハの2台のピアノのための協奏曲ハ短調 BWV1062をオーケストラと共演。2009年NHK-FM名曲リサイタルにトランペット、バストロンボーンとのトリオで出演。

## レクチャーコンサートによせて

戦後75年を思い、戦争と平和の視点、環境問題なども含めて合唱曲用の長編詩を書いてもらえないかと三多摩青年合唱団と作曲の寺嶋陸也さんから依頼があった時、私は今生きていることの感慨を風に託そうと思った。いや、風の気持ちになろうと思った。あらゆる生きものにささやき続けてきた風は、原発事故によって放射性物質をまき散らす風にもなった。その風の物語だ。今回のレクチャーコンサートは、日本の合唱の歴史について寺嶋陸也さんにご講演いただくとともに、三多摩青年合唱団の『風の旅』全編を含むコンサートをお届けする。白金キャンパスのアートホールにて、音楽と歌声から生まれる「命つなぐ風」をぜひ味わっていただきたい。

日本近代音楽館長 助川哲也